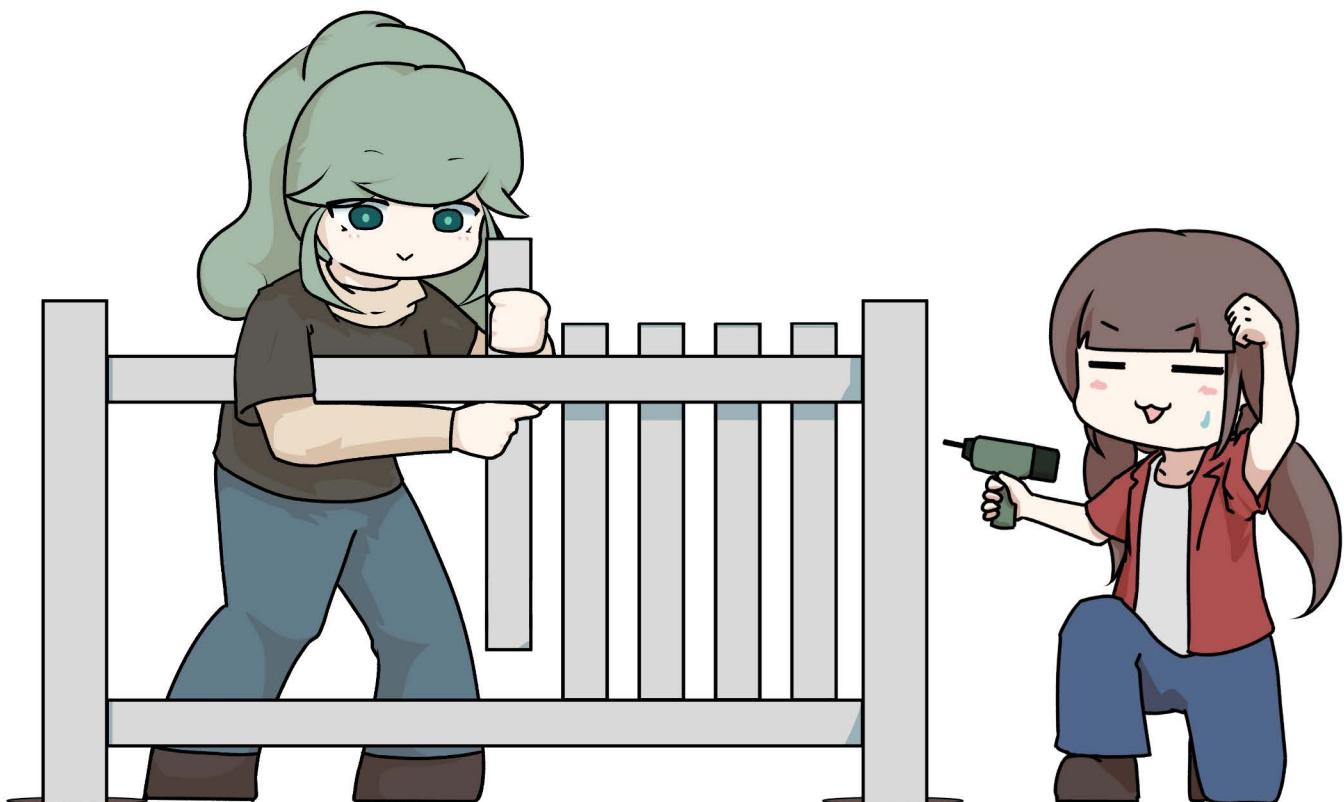


# バリューフェンス 説明書



- P2        … 施工に必要な工具と抜け止め
- P3        … ポストの種類
- P4        … ちょっと困った場合は
- P5~P7     … 組立方法
- P8~P9     … コンクリート上への施工方法
- P10~P11    … 土中埋設での施工方法
- P12        … 仕上げ
- P13        … ゲートの施工方法
- P14~P15    … 部品寸法図
- P16        … 注意事項

## 施工に必要な工具と抜け止め

### 施工に必要にな物

巻尺・各種ドライバー・水平器・水糸・のこぎり・バール・セメント・砂・砂利・塩ビ用接着剤・コーティング材など

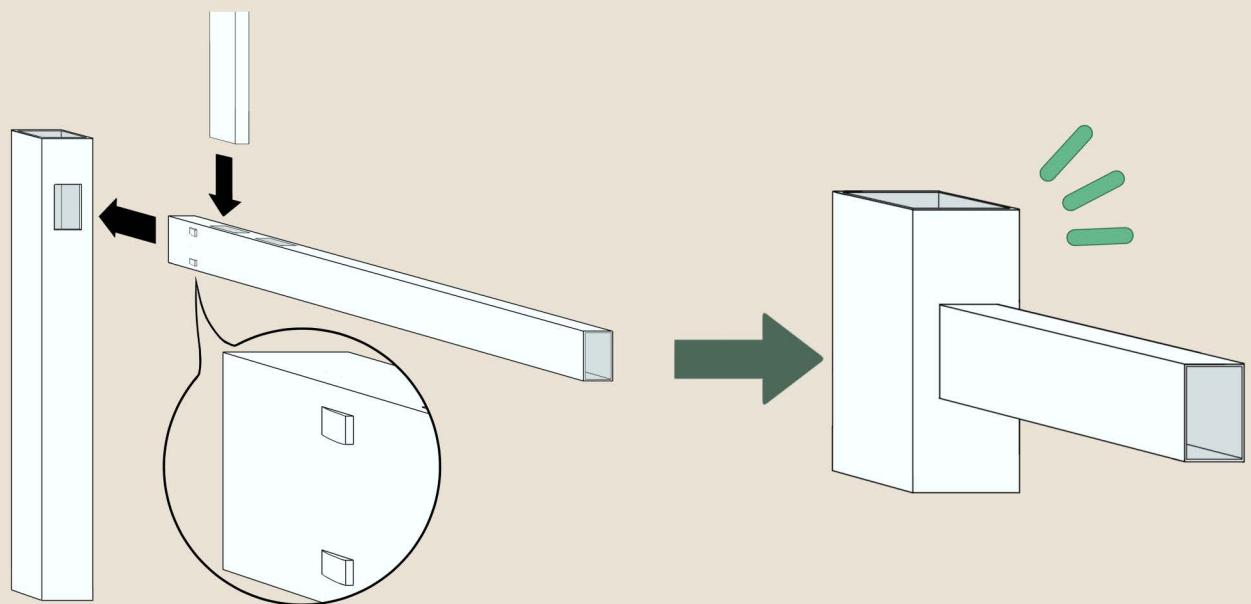
<土中埋設の場合>  
複式ショベル・ブロックや板・ハンマーなど

<コンクリート・ブロック上施工>  
ハンマードリル・差筋アンカーなど



バリューフェンスは全て中空の部品で構成されており  
組み立て方はそれぞれの穴に部品を差し込むことが基本です

それぞれの部品には必要な部分に抜け止めがあり  
差し込み後は安易に抜けない仕組みになっています



## ポストの種類

バリューフェンスのポストは太さが  
4インチ(101.6mm)と5インチ(127mm)の2種類があります

どちらの太さのポストにも

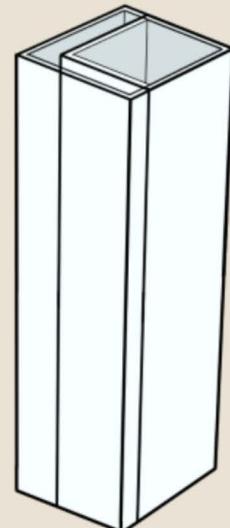
片側しかレール挿入穴の無い「エンド用」

両側に挿入穴のある「中間用」

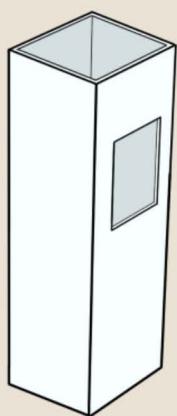
90°の位置に挿入穴のある「90°コーナー用」

90度よりも緩いコーナーに使用する「鈍角コーナー用」

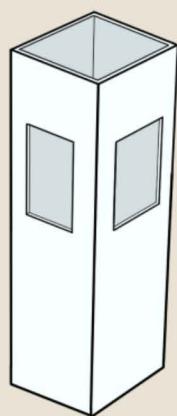
ゲート柱や加工用に使用するレール挿入穴が無い「ブランク」



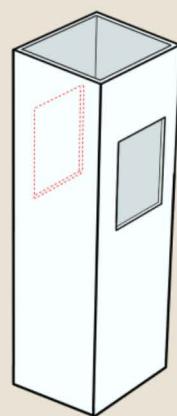
の5種類があります



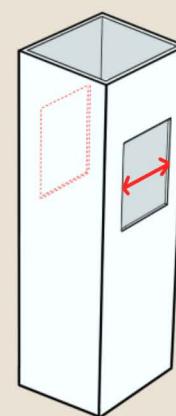
エンド用



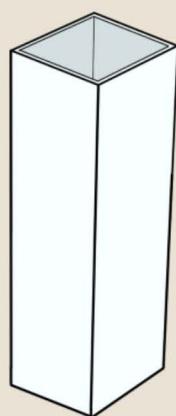
90°コーナー用



中間用



鈍角コーナー用(※1)



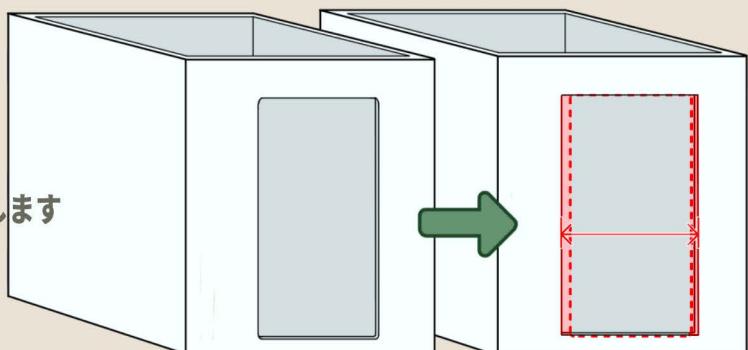
ブランク

※ 1

鈍角コーナーポストは、あらかじめレール挿入口を  
幅広に加工したポストです  
中間ポストを加工して使用する際は  
下記をご参照ください

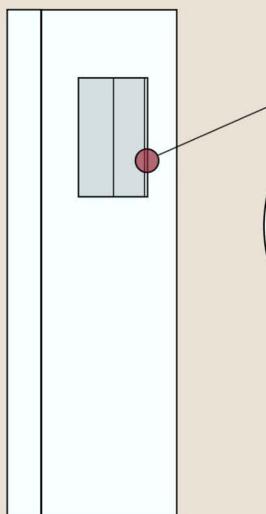
ポストレール挿入口を左右に3mm~5mm程度拡張します

レールの角がポストの内部で緩衝する場合は  
その部分を切断します



## ちょっと困った場合は

それぞれの部品が組立穴に  
差し込みにくい(きつい・硬い)場合は  
部品の角をカッターやサンダーなどで  
面取りすると作業がスムースになります



レール(横桿)を斜めに設置する場合は  
ポスト(柱)開口をジグソー等で  
適宜広げて下さい

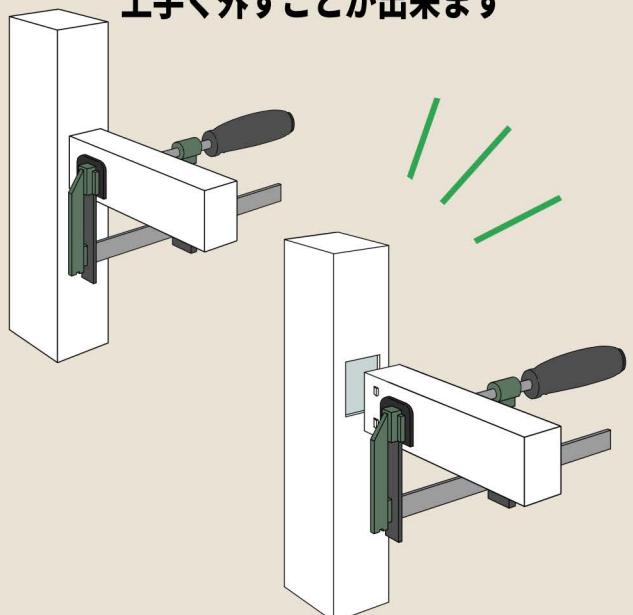
レール両端がポスト内部で  
緩衝しないようにレール端を斜めに  
カットして下さい



万一間違って部品を差しこんってしまった場合は  
無理に引っ張ると破損の恐れがあります



抜け止めの脇を  
クランプで変形させながら抜くと  
上手く外すことが出来ます

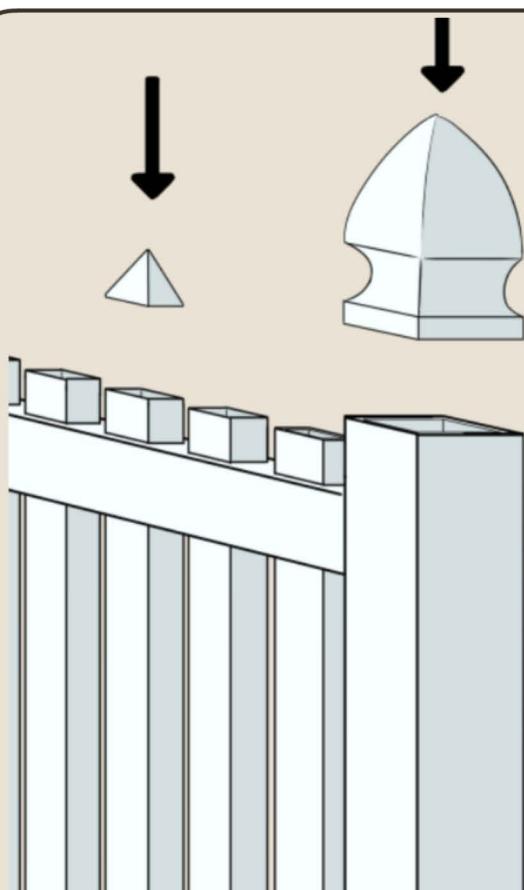


## 組み立て方法

バリューフェンスには図面以外の  
組立資料はありません  
受注生産品の場合は製作図面をご参照下さい



切断が必要な場合の工具は塩ビ用もしくは  
木工用のこぎり、丸のこ、サンダーが適します



ポストキャップは全ての組立・固定が  
終了してから装着して下さい

その際は塩ビ用の接着剤やコーティング材を  
少量使用して固定して下さい

ピケットキャップは塩ビ用の接着剤や  
コーティング材を少量使用して固定して下さい



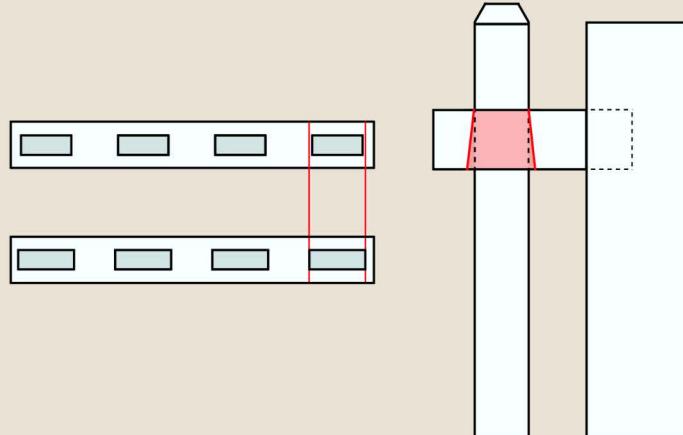
コーティングは  
はみ出で拭き取っても  
汚れにくいのでおススメです

## 組み立て方法

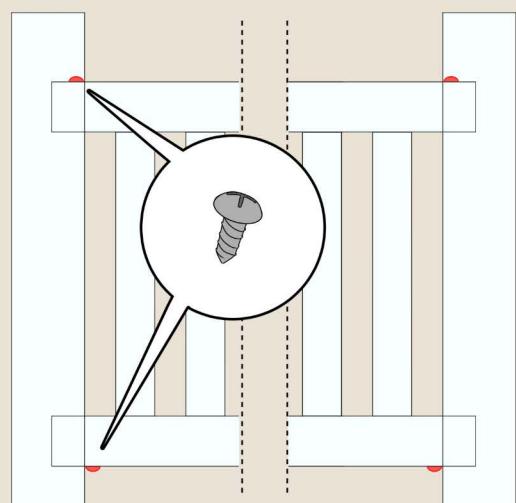
### ※重要

ピケット(縦桟)が貫通するタイプのレールは  
角度調整の為上下で穴のサイズが異なります

狭い方が上面、広い方が下面です  
必ず確認しながら設置して下さい



レールの切り詰めを行う場合は  
レール端に抜け止めを作って下さい  
抜け止めはタッピングビス等の頭で  
代用することができます



水拭きで落ちないバリューフェンスの汚れには  
以下のような洗剤等をおすすめいたします

黒ずみ・水アカ・油よごれなど

自動車用パーツクリーナー(ブレーキクリーナー)

自動車用汚れ落としワックス

食器用洗剤、マジッククリン

小キズ・スリキズなど

自動車用コンパウンド、クレンザー

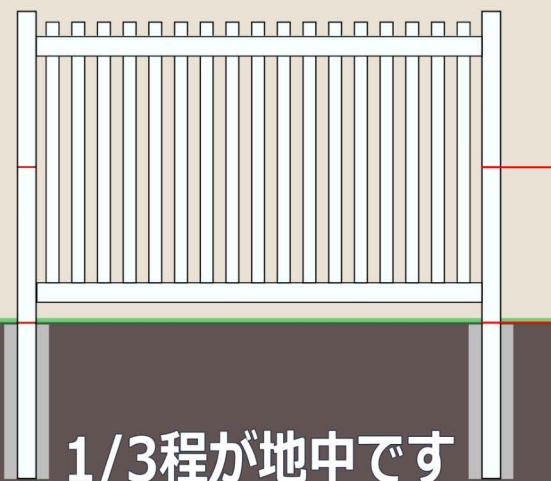
サンドペーパー#600～#1500(キャップ以外の部品用)

※ツヤ引けしますのでキャップには  
サンドペーパーを使用しないで下さい

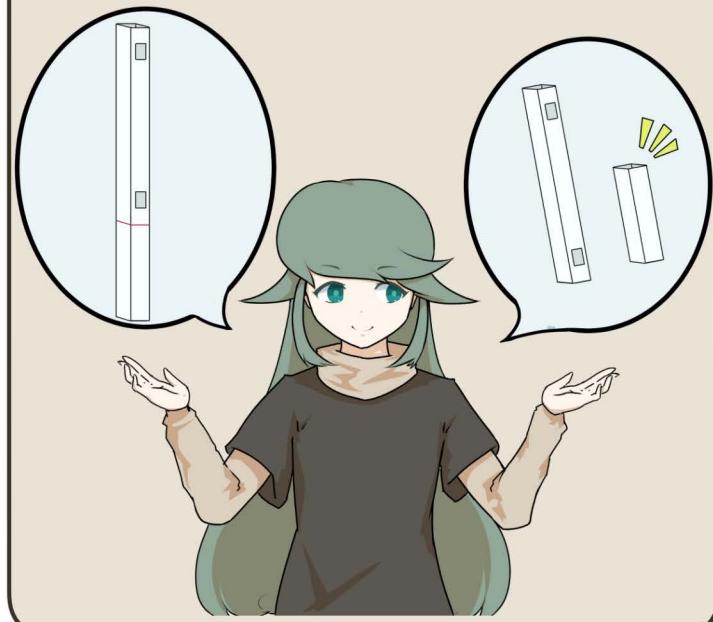


## 組み立て方法

ポストを埋設する場合は  
地上に出る高さの1/2を目安に埋設し  
コンクリートで根巻きして下さい



コンクリート上に設置する場合で  
ポストが長いときは適当な長さに切断して  
ご使用下さい



コンクリート上に設置する場合は差し金アンカー等で鉄筋を2本以上立てて  
そこにポストをかぶせて  
ポスト内部にコンクリートを詰めて固定します

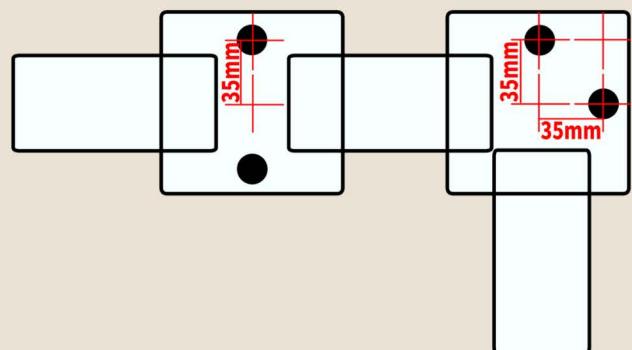


## コンクリート上への施工方法

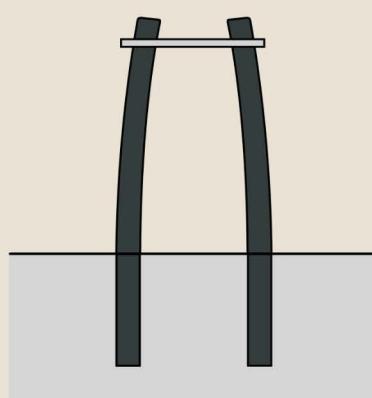
差筋アンカーを使用しレールが当たらない箇所に  
二本以上のアンカーを立てます



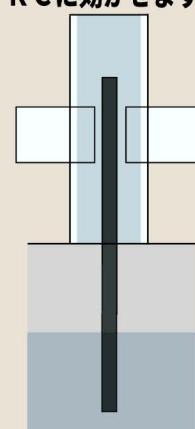
アンカーを打つポイントは35mm以上  
距離を開けて打ち込んでください



鉄筋の頭を針金やテープ等で縛って根元に  
テンションを掛けると  
アンカーが緩みにくくなります

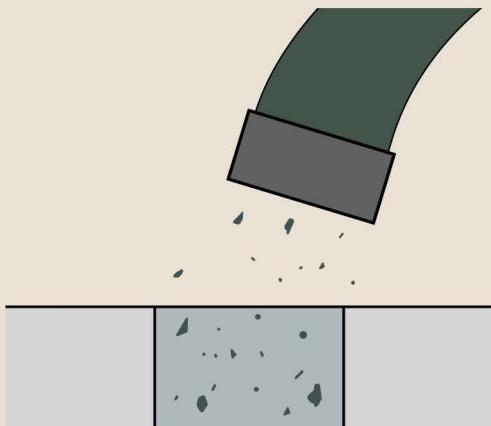


差筋アンカーは15cm～30cm程度の深さまで打ち込みます  
ブロックが1段で下にRC擁壁がある場合はアンカーを  
RCに効かせます

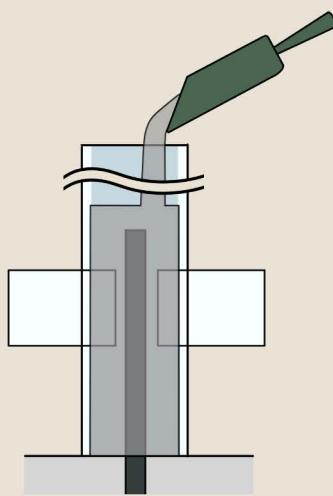


穿孔径が小さいコンパクトタイプのアンカー(D13)がおススメです

穿孔の際は必ずバキュームで粉をよく取り除いて下さい

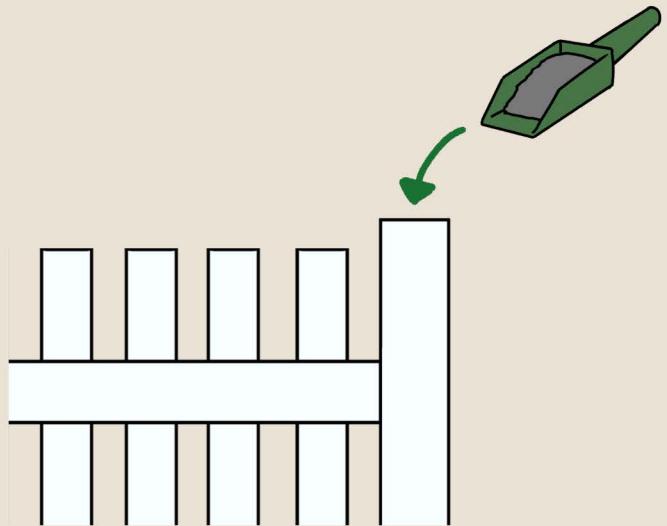


アンカーが隠れるまでモルタルを詰めます



## コンクリート上への施工方法

**ポスト(柱)の固定は全てのレール(横桿)及び  
ピケット(縦桿)を組んでから行って下さい**



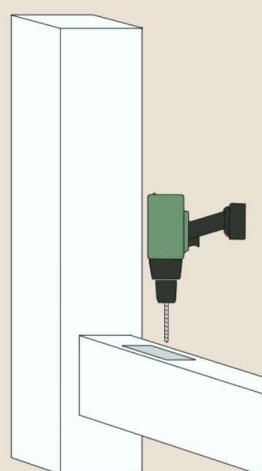
### ※重要

**ポストにコンクリートを詰める場合は  
下側レールにΦ6mm位で2箇所程度の水抜き穴を開けて下さい**

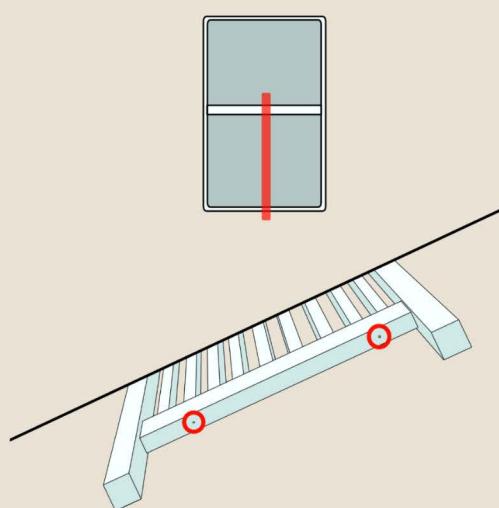
**組み立てる前に事前に穴をあけておく事をオススメします**



事前に穴をあけておくと楽です



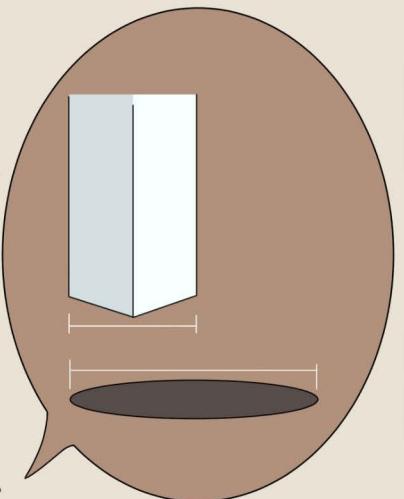
組んだ後でも問題はありませんが  
穴の開け忘れにご注意ください



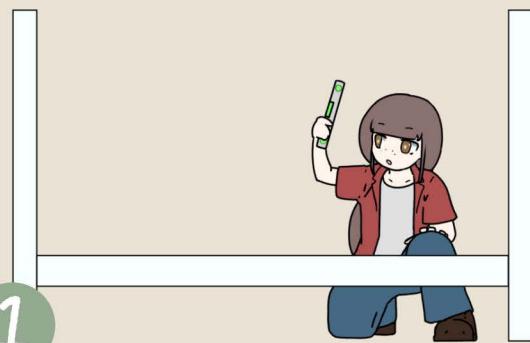
**Φ6mm/水抜き穴二箇所**

## 土中埋設での施工方法

ポスト設置位置に穴を掘ります  
水糸を使い穴の位置はなるべく正確に  
掘って下さい  
穴の大きさは  
250角～300角(25cm×25cm～30cm×30cm)程度で  
埋設する深さより少し深く掘ります



ポストを穴に差し込み、下のレールを取り付けながら  
一本ごとにポストの高さを水平器を使って調整します  
高さの調整は穴の底に砂利などを入れて突き固めて調整します



1



2



3

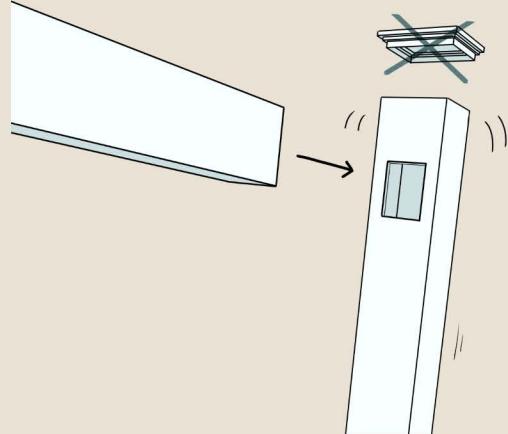


4

## 土中埋設での施工方法

上のレールやピケットなど  
ポストキャップ以外の部品を  
順に組み付けます

ポストはまだ固定しません

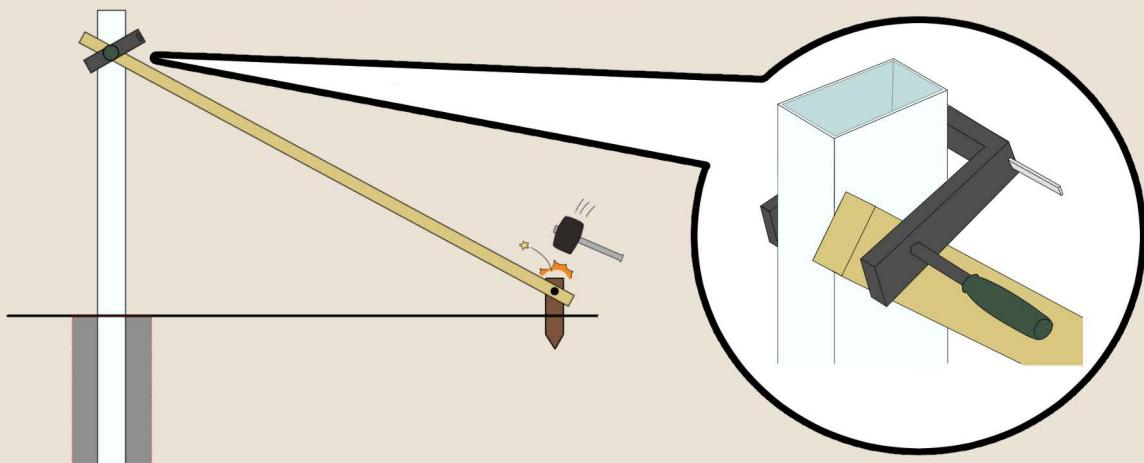


すべて組み終わったら水平垂直を再度確認して  
ポストの周りにコンクリートを詰めます



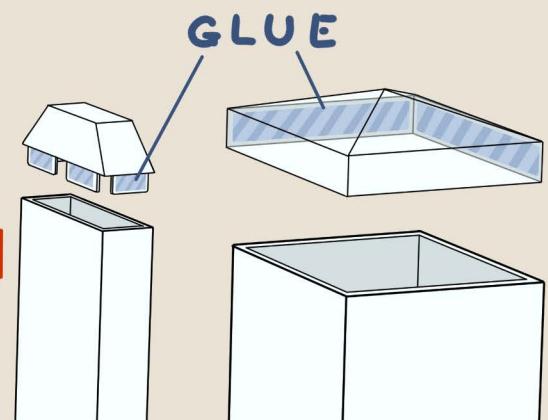
風が強い時など必要な場合は垂木などで控えを取ります

垂木にビス止めした固定用の木材をクランプで固定します



## 仕上げ

コンクリート上への施工、埋設での施工  
どちらの際もキャップ類は塩ビ用接着剤、  
またはコーティング材を使用して**最後に取り付けします**

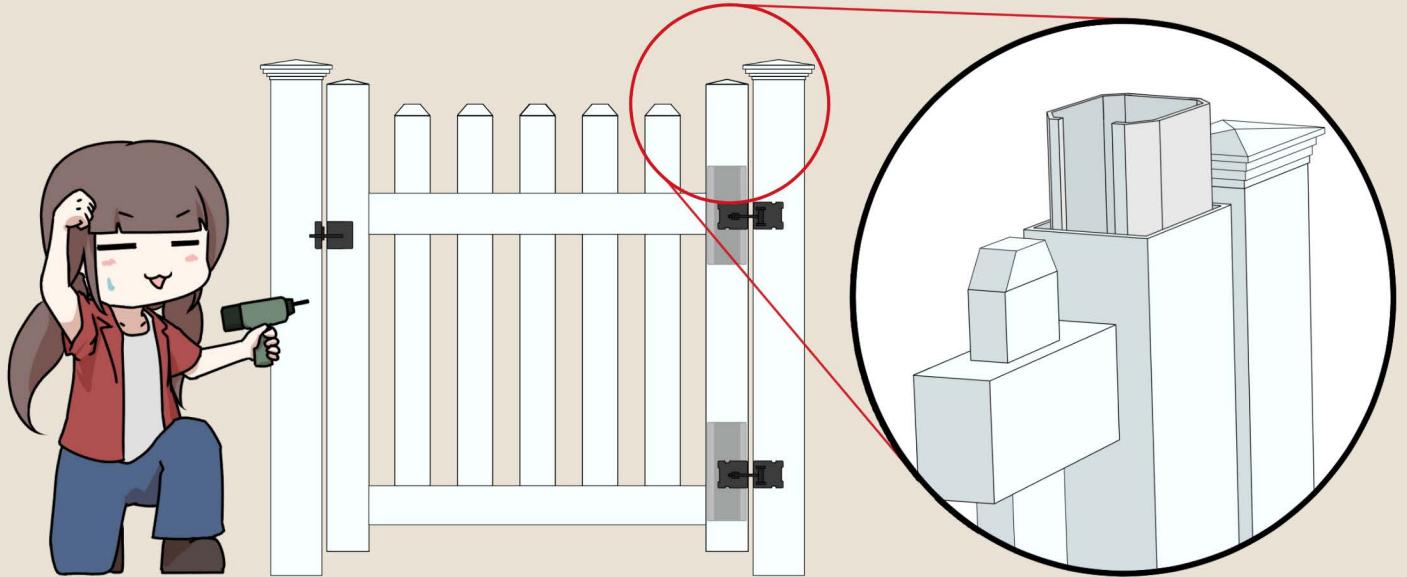


水拭き清掃して完了です  
落ちにくい汚れはブレーキクリーナー等で清掃して下さい



## ゲートの施工方法

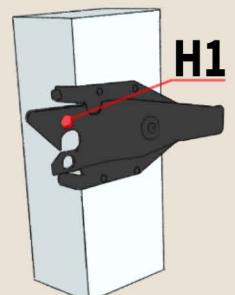
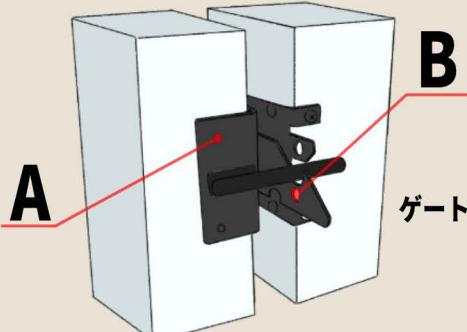
ゲートの片側のみコの字状のアルミ補強材が入っていますので  
ヒンジを補強材の位置に取り付けます  
ロック側に補強材はありませんので任意の位置に取り付けてください



ヒンジの向きはどちらが扉でもどちらがポストでも使用できます



ポストが4インチの場合は受け金具(A)・本体金具(B)を扉・ポストのどちらかに取り付けても使用できます  
ポストが5インチの場合は本体金具(B)を必ずポストに取り付けて下さい



ゲートを施錠したい場合は本体金具(B)の穴(H1)に市販の南京錠を設置してください

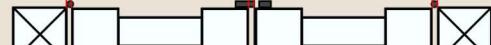
※ロックは表裏どちらからも開けることができます

ゲートとポストの間にはクリアランスが必要です  
ポスト設置の際は下図を参考に隙間の寸法を必ず確保してください

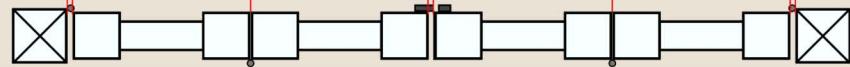
シングルゲート



ダブルゲート



ガレージゲート

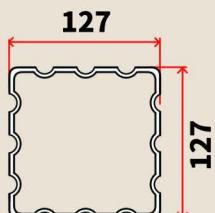
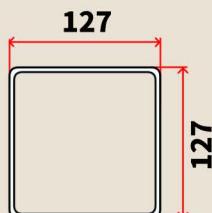


25<sup>+1</sup><sub>-5</sub> 3<sup>+2</sup><sub>-2</sub>

## 各種寸法

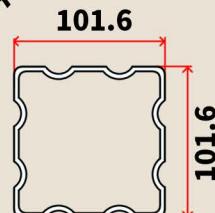
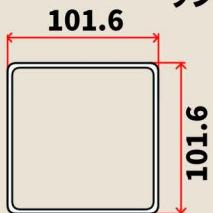
### 5インチポスト

プライバシーフェンスシリーズ  
セミプライバシーフェンスシリーズ

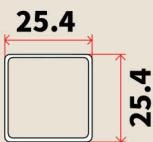


### 4インチポスト

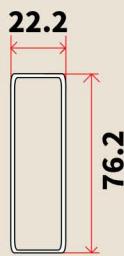
ピケットフェンスシリーズ  
プールフェンスシリーズ  
ポーチレールズ  
ランチレールズ



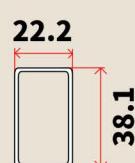
### ピケット



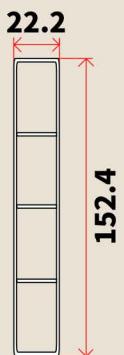
WAF



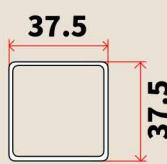
WST  
WSC  
WPL



WNW



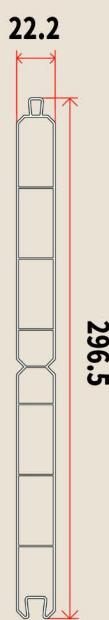
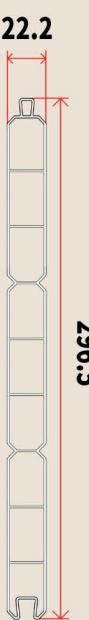
WNW  
WSP  
WSPL  
WSPP  
WRV



WST ナロー  
WSC ナロー  
WBE  
WPR  
WPVP  
WSPP

### パネル

ソリッドプライバシーフェンスシリーズ



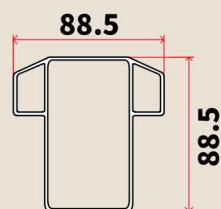
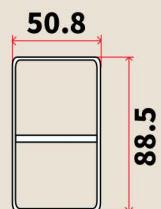
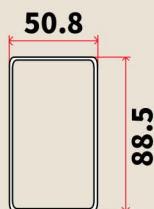
## レール

ピケットフェンスシリーズ

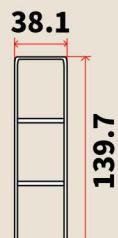
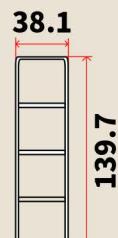
プールフェンスシリーズ

ポーチレールズ

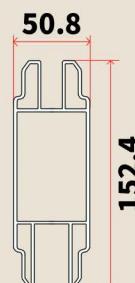
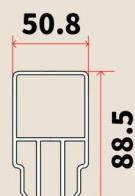
セミプライバシーフェンスシリーズ



ランチレールズ

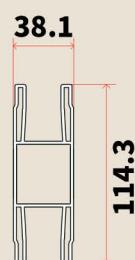
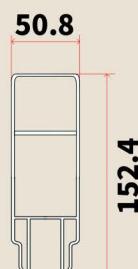
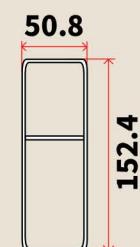
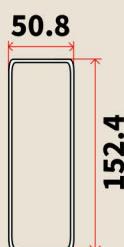
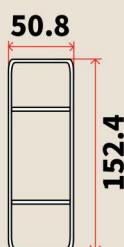


ソリッドプライバシーフェンスシリーズ



セミプライバシーフェンスシリーズ

パーゴラ

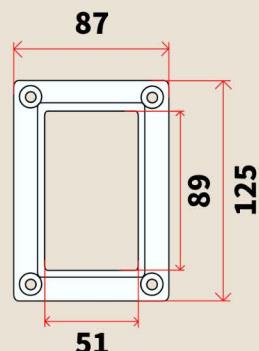
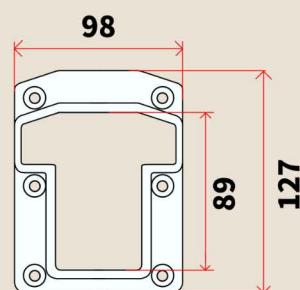
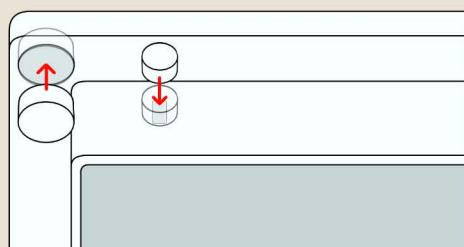


## レールコネクター

レールコネクターは全て5mmナベ(ステンレス推奨)  
のタッピングビスにて取付をします

大きなキャップは柱側のビス穴に使用します

小さなキャップはコーティング剤でレールのビス頭に接着します  
小さなキャップのご使用は必須ではありません





バリューフェンスは柔らかい素材のため  
製品製作中の工具などによる線傷  
運送中の擦り傷  
水拭きで落ちない汚れなどあり  
これらはクレーム対象外です

汚れ落としには自動車用のブレーキクリーナーが適します  
ポストやレール・ピケットの傷落としには  
細目のサンドペーパーやクレンザーで  
キャップは自動車用コンパウンドなど艶出しで仕上げて下さい  
サンドペーパーで落とせない程度の  
深い傷がある場合は製品の交換をいたしますので  
気になる部分がある場合は組立前に傷落としを実施して下さい

# Valuefence.net

---

(株)ウェブコンドットオーアールジー バリューフェンス事業部  
〒227-0055 横浜市青葉区つつじが丘23番地9  
<https://valuefence.net/>

